



地域の中の学校づくり

学習指導要領では、育成すべき資質・能力が三つの柱で整理されている。学習指導要領前文には「社会に開かれた教育課程が重要となる」とあり、総則第1の(1)には「地域の実態を充分考慮して適切な教育課程を編成するもの」とし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行う」とある。学校と地域社会が連携・協働して子供たちの資質・能力を育むといった理念が見えてくる。このような地域社会との連携・協働については、どの学校も取り組んでいることと思う。

先日、前任校の「与儀小学校地域まちづくり協議会」の総会に参加した。令和3年度の活動報告を聞いている中で、懐かしさと同時に、学校と地域の深い関わりに改めて気付かされ、地域みんなで子供たちを育てていた事を再認識した。この地域は、自治会がなく通り会が二つあるだけである。都市部の学校は、離島・僻地に比べると、地域との繋がりが弱いイメージだが、ここでは地域まちづくり協議会を中心に地域と学校がしっかりと繋がっている。月に一度の拡大会議がある。そこには、学校(こども園含む)はもちろん、地域の方々、地域の企業、警察、保育園、大学、民生員、通り会代表など多業種で多様な人々が集う。そこで、学校周辺の環境美化、危険箇所の確認、防犯街灯設置、祭り、夜間パトロール、小中新一年生への記念品贈呈(昔の学事奨励)等、学校を支える内容について多く話し合われる。

その拡大会議の中で、看護大学の教授から「学生を活用して何かお手伝いできないか」との相談があった。当時のPTA会長から、朝の「読み聞かせ」はどうかとの提案があり、準備調整期間を得て週一回実施した。スタートすると、学生だけでなく、大学教授も朝の読み聞かせに参加していただき、思いのほか子供たち、保護者等から好評であった。大学側も子供たちとの関わり方を学ぶことができ、将来、医療の現場に出たときに役立つとの言葉があった。取組を通して大学と連携した学校支援体制の素地が出来たと感じた。

そのような時、養護教諭から「本校の課題である『教室に入れない児童の居場所』として、学生を活用した支援が出来ないか」と、相談があった。大学側との協議後、対象児童の保護者へ支援の提案を行い、許可を得た上で、不登校気味の児童数名の支援を行うこととなった。一つの繋がりが、次の繋がりに波及した瞬間である。週一回程度、計画的に相談支援を行う中、困り感の一つであった苦手教科の学習支援も合わせて行ったことで、改善傾向が見られた。その他、学生と保健委員会の児童を中心に、6年生を対象に、メンタルヘルスとキャリア教育をねらいとした「学校保健委員会」を計画し、開催した(詳細は省略)。

今年度に入り、大学から私に「今年度初めに、中学校の校長先生から依頼があり、中学校でも居場所づくりの支援を行うことになりました」と連絡があった。私自身も、この支援が小学校だけではなく、中学校でも継続できればと考えていたので、中学校へも支援の輪が広がったことは、とても嬉しい知らせであった。

今、多くの「小学校区まちづくり協議会」が立ち上がっている。「まちづくり協議会」の構成メンバーには、学校運営に活かせる人材や機関等が埋もれている事が多いので、取組の連携・協働が地域の中の学校づくりや地域の実態を考慮した教育課程編成のヒントになるのではないだろうか。

7月 研究所事業予定

1(金)	中堅教諭等資質向上研修⑤	市内学校
7(木)	初任者研修⑥	真和志庁舎
15(金)	ICT教育推進部会③	オンライン
21(木)	中堅教諭等資質向上研修⑥	真和志庁舎
28(木)	初任者研修⑦	若狭公民館
28(木)	初任者研修⑧	対馬丸記念館

※中堅研⑥については、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員も対象です。

118期教育研究員

新垣 研究員(幼児教育)
神崎 研究員(特別活動)
國場 研究員(ICT教育)

7月前半	検証授業・実践
25(月)	中間検討会Ⅱ

記録用媒体(USB)の使用について



記憶用媒体(USB)は、小さく、持ち運びがしやすく便利です。その一方で、紛失等の危険性も高くなります。ウイルス対策が十分ではない個人用パソコンで使用した場合、ウイルス感染による情報流出の恐れがあります。USBメモリのウイルスチェックを行い、暗号化する等の対策をしましょう。また、他県においては個人情報保存したUSBを紛失したという事例もありました。USBを持ち歩く際は、必要なデータのみ保存する等、情報漏洩のリスクを意識しましょう。

中堅研④【道徳科代表授業 6/15(水)】



小学校道徳Bグループの授業風景



中学校道徳グループの様子

【研修者の感想(抜粋)】

- 授業づくりや実践を通して、道徳的価値に対する子供の本音を引き出し、自分を見つめ直す場の設定が、多面的・多角的な見方・考え方を広げることにつながるのではないかと考える機会になりました。
- 今回の研修で特に良かったことは、自分の道徳の授業の課題とグループ共通の課題の改善に向けた、お互いのノウハウを共有できたことです。新たな課題も見つかり改善に向けて努力していきたい。

※オンラインやオンデマンド研修から、徐々に参集型の研修も取り入れております。教師自身も対話を通して、学びを深めています。研修者相互の横のつながりも大切にしていきたいものです。